

I 第3週の発生動向 (2015/1/12~1/18)

- インフルエンザについては、むつ保健所管内で**警報**が新たに発令されました。前週から弘前保健所管内で**注意報**が、第1週から八戸保健所管内で**警報**が継続しています。また、第52週から上十三保健所管内で**警報**が、東地方+青森市、五所川原保健所管内で**注意報**が継続しています。
- 感染性胃腸炎については、患者報告数が前週の289人から204人に減少しました。

II 第3週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		前週からの増減	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
(90) インフルエンザ	342	26.3	277	18.5	485	32.3	165	23.6	394	43.8	206	34.3	1,869	28.8	83	25	25.0	317	26.4
(79) RSウイルス感染症	6	0.8	7	0.8	5	0.5	2	0.4	3	0.5			23	0.6	1			6	0.8
(80) 咽頭結膜熱	1	0.1	3	0.3									4	0.1	-4			1	0.1
(81) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	1.1	9	1.0	12	1.2	1	0.2	4	0.7			35	0.8	1			9	1.1
(82) 感染性胃腸炎	86	10.8	15	1.7	45	4.5	14	2.8	26	4.3	18	4.5	204	4.9	-85			86	10.8
(83) 水痘			2	0.2	1	0.1					4	1.0	7	0.2	-20				
(84) 手足口病	2	0.3											2	0.1	1			2	0.3
(85) 伝染性紅斑	3	0.4			13	1.3			2	0.3			18	0.4	-8			3	0.4
(86) 突発性発疹			3	0.3	5	0.5			1	0.2			9	0.2	-10				
(87) 百日咳															0				
(88) ヘルパンギーナ					1	0.1							1	0.0	0				
(89) 流行性耳下腺炎											1	0.3	1	0.0	1				
(91) 急性出血性結膜炎															0				
(92) 流行性角結膜炎	5	2.5	3	1.0			2	2.0					10	0.9	3			5	2.5
(97) クラミジア肺炎															0				
(98) 細菌性髄膜炎															0				
(100) マイコプラズマ肺炎					2	2.0					2	2.0	4	0.7	-1				
(101) 無菌性髄膜炎															0				
(82) 感染性胃腸炎(ロタウイルス)					1	1.0	1	1.0					2	0.3	-3				

は警報、 は注意報。「空欄」：患者発生無し。

III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- 結核(二類全数把握疾患)：弘前3人、五所川原1人、上十三1人(2015年計:11人)

IV 病原体検出情報 ※ () 内は、検査材料及び検体採取日、検出数です。

- インフルエンザ患者(鼻汁、咽頭ぬぐい液、H26.12/17~H27.1/9)・・・インフルエンザウイルスA H3 亜型：弘前(7)、八戸(3)

感染症の窓

急性脳炎 (五類全数把握疾患)

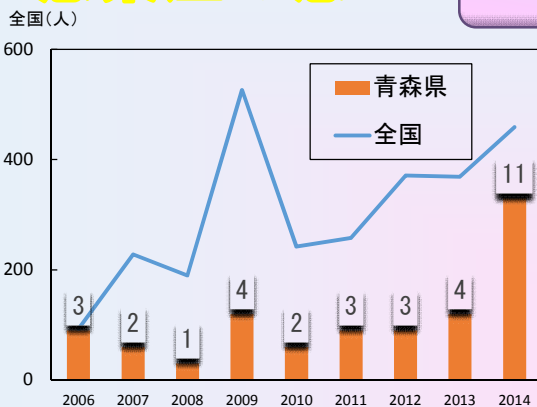


図1 過去9年間の急性脳炎報告数推移

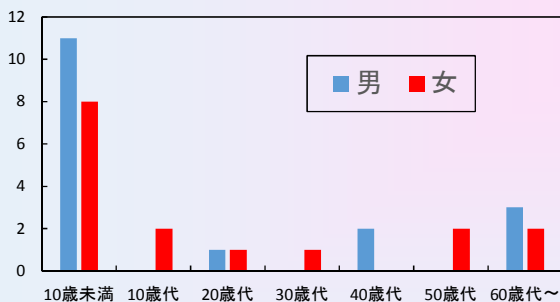


図2 本県における性別・年齢別報告数(人)
(2006年第1週~2014年第52週)

急性脳炎は、ウイルス、細菌、寄生虫など種々の病原体による脳組織の炎症に起因する疾患群の総称です。原因ウイルスとしては、単純ヘルペスウイルス、サイトメガロウイルス、アデノウイルス、エンテロウイルス、風しんウイルス、インフルエンザウイルス、麻しんウイルス、ムンプスウイルス、水痘ウイルスなどがあります。

近年、冬のインフルエンザシーズンに一致して脳症が増加する傾向が認められています。

感染経路、潜伏期間も病原体により異なります。

症状としては、急性の発熱、髄膜刺激症状、意識障害、精神症状がみられます。

全国における年間患者報告数は年により変動し、2006年~2014年の過去9年間に於ける報告については2009年にピークを示していますが、近年では概ね300件前後が報告されています。本県においては、2006年以降、1~4人の範囲で推移していましたが、2014年は11人の報告がありました(図1)。性差は見られず(男性17人、女性16人)、年齢層別では10歳未満が全体の約6割を占めていました(図2)。

V 県内インフルエンザ情報

第3週の患者報告数は、1869人で、迅速診断キットによる型別はA型1825人、B型2人、不明42人でした。

警報レベル開始基準値：30人/定点、警報終息基準値：10人/定点、注意報基準値：10人/定点

(※ 警報注意報基準値は保健所ごとの定点あたり報告数が基準となっています。)

保健所管内別届出人数 (人)

週	44	45	46	47	48	49	50	51	52	1	2	3
東地方								3	3	19	13	25
弘前							7	28	60	58	228	277
八戸					1	22	65	175	326	453	449	485
五所川原						1	23	50	71	129	169	165
上十三					1	32	76	204	318	552	426	394
むつ				2	2		1	15	32	97	138	206
青森市	4		1		1	3	11	41	151	159	363	317
合計	4	0	1	2	5	58	183	516	961	1467	1786	1869

A型 (迅速診断キットによる型別です)(人)

週	44	45	46	47	48	49	50	51	52	1	2	3
東地方								3	3	19	13	25
弘前							7	28	59	57	228	275
八戸					1	21	54	170	321	450	442	477
五所川原						1	22	50	70	129	168	165
上十三					1	32	74	200	305	544	397	376
むつ				2	2		1	15	32	97	138	206
青森市					1	3	10	40	145	143	350	301
合計	0	0	0	2	5	57	168	506	935	1439	1736	1825

B型 (迅速診断キットによる型別です)(人)

週	44	45	46	47	48	49	50	51	52	1	2	3
東地方												
弘前									1			
八戸						1	1					1
五所川原							1		1		1	
上十三											1	1
むつ												
青森市	4		1						1	2		
合計	4	0	1	0	0	1	2	0	3	2	2	2

年齢区分別(人)

週	44	45	46	47	48	49	50	51	52	1	2	3
～5ヶ月								1	3	8	8	12
～11ヶ月						1	1	6	9	16	21	31
1歳						4	3	9	23	31	68	100
2歳							5	15	30	25	65	100
3歳						1	9	11	27	34	62	89
4歳						3	8	20	33	34	51	93
5歳						4	12	23	34	37	55	87
6歳					1	9	12	25	53	37	66	107
7歳						5	11	21	32	34	46	73
8歳						6	15	20	39	23	27	41
9歳						7	13	25	47	28	30	39
10～14歳	2				1	9	46	159	227	154	155	197
15～19歳							19	36	51	73	101	80
20～29歳			1		1	1	2	31	82	229	198	120
30～39歳				1	1	1	5	34	79	179	184	180
40～49歳	2				1	3	7	33	63	156	172	135
50～59歳					1	1	7	13	51	106	170	98
60～69歳						2	4	11	31	114	112	98
70～79歳						1	3	9	27	78	87	86
80歳以上							1	14	20	71	108	103

VI 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2014年第39週～2015年第3週）

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
39	H26.9.22 ~ H26.9.28					腸管出血性大腸菌感染症1人	
40	H26.9.29 ~ H26.10.5		レプトスピラ症1人			腸管出血性大腸菌感染症2人	
41	H26.10.6 ~ H26.10.12			カルバペネム耐性腸内細菌感染症1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人			
42	H26.10.13 ~ H26.10.19			つつが虫病1人 カルバペネム耐性腸内細菌感染症1人 ジアルジア症1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人	
43	H26.10.20 ~ H26.10.26		急性脳炎1人				
44	H26.10.27 ~ H26.11.2					クリプトスポリジウム症10人	
45	H26.11.3 ~ H26.11.9		急性脳炎1人				腸管出血性大腸菌感染症1人
46	H26.11.10 ~ H26.11.16	つつが虫病1人		侵襲性肺炎球菌感染症1人			
47	H26.11.17 ~ H26.11.23			A型肝炎1人			
48	H26.11.24 ~ H26.11.30	侵襲性肺炎球菌感染症1人				腸管出血性大腸菌感染症1人	
49	H26.12.1 ~ H26.12.7	つつが虫病1人	急性脳炎1人			腸管出血性大腸菌感染症3人	
50	H26.12.8 ~ H26.12.14		劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人				
51	H26.12.15 ~ H26.12.21	腸管出血性大腸菌感染症3人	後天性免疫不全症候群1人	アメーバ赤痢1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人			
52	H26.12.22 ~ H26.12.28	腸管出血性大腸菌感染症1人	カルバペネム耐性腸内細菌感染症1人	侵襲性肺炎球菌感染症1人			
1	H26.12.29 ~ H27.1.4		侵襲性肺炎球菌感染症1人				
2	H27.1.5 ~ H27.1.11			侵襲性肺炎球菌感染症1人			
3	H27.1.12 ~ H27.1.18						

VII 結核（二類全数把握疾患）（2014年第45週～2015年第3週）

単位：人

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
45	H26.11.3 ~ H26.11.9	3	2	2			1
46	H26.11.10 ~ H26.11.16	1	2	1			
47	H26.11.17 ~ H26.11.23	1	2	3	1		
48	H26.11.24 ~ H26.11.30		4	2	1		
49	H26.12.1 ~ H26.12.7		1			1	
50	H26.12.8 ~ H26.12.14	2	1		4	1	
51	H26.12.15 ~ H26.12.21			1	1		
52	H26.12.22 ~ H26.12.28		3	1		2	1
1	H26.12.29 ~ H27.1.4		1				
2	H27.1.5 ~ H27.1.11	3	1			1	
3	H27.1.12 ~ H27.1.18		3		1	1	

VIII 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）

（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国

（2015年第1週）

分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	A型肝炎	つつが虫病	デング熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	急性脳炎	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	水痘(入院例)	播種性クリプトコックス症
累積報告数	53	1	4	1	3	1	12	3	4	2	22	2	5	1	1

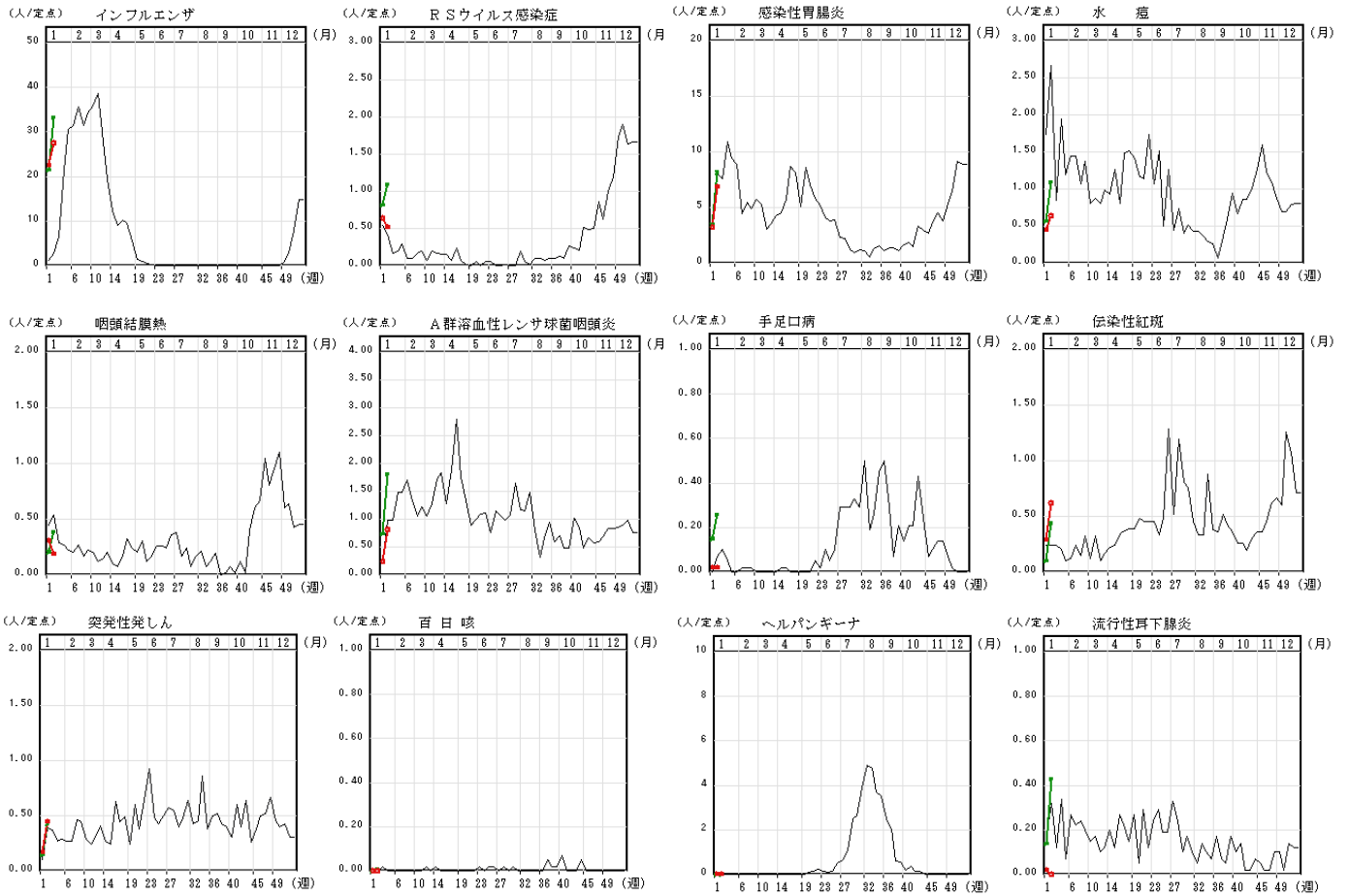
青森県

（2015年第1週～第3週累計）

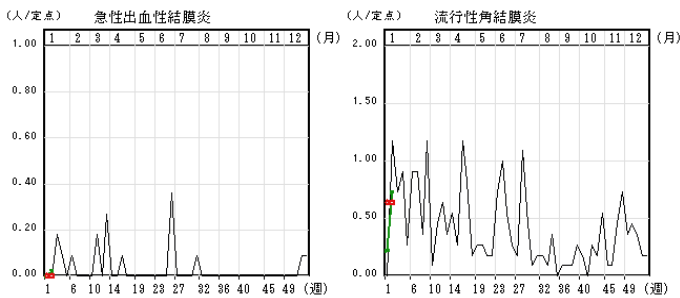
分類	二類	五類
疾病名	結核	侵襲性肺炎球菌感染症
累積報告数	11	2

IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2015年第2週)

グラフの説明 ○—○は2015年青森県、——は2014年青森県、×—×は2015年全国



X 眼科定点把握疾患週別推移 (2015年第2週)



XI 基幹定点把握疾患週別推移 (2015年第2週)

